

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌声づくりに相応しい楽曲を精選したり、児童が目指したい歌声を考えたりして学習活動に取り組んだことで、自然で無理のない歌い方を美しいと感じて歌えるようになってきた。
- ・音楽の共通事項について、視聴覚教材を活用したり、共通の音楽用語を用いて学習を積み重ねたりしたことで、音楽的な見方・考え方を働かせながら、友達と協働的に音楽活動するようになってきている。

(2) 課題

- ・特に低学年において、正しいリズム感、音程感を身に付けることができるよう、リズム遊びや節遊びを取り入れながら、主体的・協働的に取り組めるようにする。
- ・自分の思いや意図をもって歌ったり演奏したりして音楽的な感性をより高めていくために、学習形態の工夫によって、児童が主体的・協働的に学習活動に取り組むことができるようにする。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○リズム感が身に付くよう、リズム遊びや節遊びに興味をもたせ、音楽活動に親しむようにする。 ○鍵盤ハーモニカのタンギングや正しい運指が身に付くよう、様々な楽曲で基本的な指導を徹底し、基礎・基本の定着を図る。	○遊びの中からリズムに興味をもたせ、体で表現し、音楽表現の楽しさに気付かせるようにする。 ○音楽の聴くポイントを示したり、視聴覚教材を活用したりすることで、曲のよさを味わいながら聴けるようにする。	○体を使ったリズム学習を取り入れ、楽しんで取り組めるようにする。 ○正しいリズム唱、階名唱が定着するように、学習課題によってペア学習やグループ学習を取り入れ、様々な楽曲で繰り返し取り組んだり、できている所を認め、意欲をもたせたりすることで、楽しく演奏できるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○視聴覚教材を活用して分かりやすく掲示したり、反復練習をしたりすることで、読譜力を身に付け、音符、休符の名前や意味、共	○声づくりに相応しい楽曲を精選することで、自然で無理のない歌い方が美しいと感じられるようにする。	○歌い方や演奏の仕方について自分の考えをもち、ペア学習やグループ学習から友達のよさを感じ取りながら、主体的・協働的に

通事項の内容を理解できるようにする。 ○表現活動において、児童同士で教え合う場を増やしたり、スモールステップで課題に取り組んだりすることで、基本的な技能を身に付けることができるようにする。	○視聴覚教材を活用したり、共通の音楽用語を用いて学習を積み重ねたりすることで、自分の思いをもって活動できるようにする。	学習に取り組む態度を養う。 ○歌声や音を聴き合って音を合わせることができるように、学習課題に合わせて学習形態を工夫し、楽しんで表現活動に取り組む態度を養う。
--	--	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○音楽的な知識を歌唱や演奏表現に生かすことができるように、スモールステップで技能を身に付けるようにする。更に、児童が必要な技能を選択して、楽曲を表現できるようにする。	○グループ活動やオクリンクのワークシートなどを活用した意見共有の場を設定し、自分の思いをもち、交流を通して表現力を高めていけるようにする。	○演奏技能の習熟レベルに応じて学習課題を複数用意し、主体的・協働的に取り組めるようにする。 ○歌い方や演奏の仕方について自分の考えをもち、ペア学習やグループ学習から友達のよさを感じ取りながら、主体的・協働的に学習に取り組む態度を養う。